

けいじばん

1. 会報誌配信のこと;会報誌配信方法の検討に手間取り、2号誌の発行が大幅に遅れましたことお詫びします。1号誌にあったメール送受信の問題解消につき諸々の方法を検討しましたが実効性のある改善策が見出せないため、当分の間次の通り実行します。
  - ① 1号誌と同じフォームで編集し、メールのない会員にはプリントして郵送する。
  - ② 1号誌読解不能(文字化け、レイアウトズレ等)会員にもプリントして郵送。
  - ③ 1号誌を問題なく受信出来た会員(OFFICE2000等+ADSL等)にはメール送信する。
  - ④ 1号誌の受信時間に問題のあった会員にも今回容量減のため試験的にメール送信する。  
本2号誌の受信に問題ある方、動作・通信環境、メールアドレスの変更等は事務担当に必ず連絡下さい。事務担当の手間と事務コスト節約のため、メール受信可能な会員にはメールで配信しますので、ご協力宜しく願います。
  
2. 千年の森づくり事業;平成13年度以来実施されてきた「千年の森づくり事業」(以下「事業」という)は15年度末まで継続実施されます。事業主体は県みどり推進課。
  - ①「事業」の中心課題は豊英の中長期の整備計画策定であり、それは「千年の森づくり事業報告書」(15年3月)に示された基本方針と管理目標をベースとし、それを具体化するもので、年度内完成を目指します。
  - ②「ちば千年の森をつくる会」(以下「会」という)は県みどり推進課、小平顧問の指導監督のもと、年度内は「事業」の一環として活動し、前記豊英の整備計画策定作業にも参加します。
  - ③年度内に策定された整備計画を主な内容にして、豊英島の所有者である県と「会」との間で豊英島の整備に関する協定を締結します。この協定は16年度以降の「会」活動の指針となるもので、里山保全条例に基づく県の認定を受けることを目指します。
  
- 3 今年度活動計画;年度後半の活動を以下の通り計画します。アンダーラインは年度当初計画に追加した部分です。
  - ① 10月11日(土曜日);きのこ狩り、要保護植物調査、区域分け、その他
  - ② 11月29日(土曜日);更新伐採等整備作業、森林整備計画関連、懇親会、現地泊
  - ③ 11月30日(日曜日);更新伐採等整備作業
  - ④ 16年3月7日(日曜日);きのこ植菌等、広場整備(椅子、テーブルなど)

計画変更ない限り、活動日毎の「ご案内」はありません。この計画表を案内状とします。集合は駐車場AM9:45。又マイカー同乗者は必ず運転者に出欠の連絡願います。
  
- 4 11月29日懇親会&宿泊;国民宿舎「清和」で18時から懇親会を開催し(宿泊可)ます。懇親会のみ参加の場合 約4,500円+α、宿泊の場合約9,000円です。懇親会参加希望、宿泊希望を10月末までに事務担当迄お申込み下さい。
  
- 5 その他連絡事項  
・規約に“「スポーツ安全保険」に加入する”旨記載していますが保険料値上げの問題等あるため解約し「日動火災レク保険」に変更し、今年度は県当局で加入・支払が行われます。活動中の傷害のみ保証、熱射病、かぶれ、往復の事故等は対象外。

## かつどうのきろく

[9月7日(日)] 曇

- ・参加会員12名、県みどり推進課安積主幹、両角主任、小平顧問外1
- ・冒頭坂本代表より「千年の森づくり事業」について(前ページけいじばん記載)説明、県安積主幹より「事業」実施責任者として挨拶&補足説明、「千年の森づくり事業報告書」配布(欠席者にはみどり推進課より後日郵送)。
- ・作業は午前中竹刈り、森中張り巡らされた蜘蛛の巣と蚊に悩まされながら、蜂刺され1件。
- ・午後は竹刈り班と保護植物調査班の2班編成、調査班は「報告書」p26の「要保護群落(C)」記載のミツバツツジ、キヨスマツバツツジ、リンボク及び林床の「一般保護植物(D)」エビネにマーキング。ミツバツツジとキヨスマ……の違いをキッチリ?と峻別しながら。



- ・昼食は小平顧問、両角主任手作りのきのこ汁と小平風きのこソテーに舌鼓。きのこ汁は大きい鍋に卓上ガスコンロの火力不足で苦心の調理となったが、2杯目のおかわり時には新里芋も煮え旨みとろみ増えて大好評、話題も弾み大盛会。

[6月8日(日)] 晴

- ・参加会員19名、みどり推進課出口技師、小平顧問、外1名
- ・冒頭“大樹クン”シンボルマーク入りの「ちば千年の森をつくる会」ネームプレート配布。又小平顧問より同氏執筆協力の「森のガイドブック千葉」20冊寄贈あり五百円カンパの会員に配布。
- ・午前の作業はマダケ区域外のマダケ幼木除去作業班とマダケ林の間引き作業班の2班編成。
- ・午後はマダケ林間引き班と広場南側の低木常緑樹及び針葉樹伐採班の2班編成、「低木とは5メートル以下」の指示が徹底せず、5メートル以上の木も一部伐採され、「作業指示の徹底」に今後の反省点を残す。
- ・昼食に小平顧問手作りの竹の子味噌汁2品、マダケ汁とホテイ竹汁、2品間の味・香り・舌ざわりの差は顕著でホテイ竹の上品な旨みを好む人が多かった。未経験者には是非とも来シーズン試食を奨めたい。